

演題：アメイズ神社の御利益！？

副題：～「色々な景色を見て回りたい」の願いの先に～

事業所名：介護老人保健施設アメイズ

演者名：加藤 涼介

共同発表者名：大西 崇弘

【本文】

【はじめに】

今回、行事レク実施後、「色々な景色を見て回りたい」と絵馬に希望が書かれた利用者様への支援を行った。支援内容は行事レク後に利用者様、家族様が希望する外出支援まで行えた為、報告する。

【内容】

当施設では年始に初詣に行けない利用者様が多い。その為、1月初旬に全利用者を対象とし施設に神社と賽銭箱を設置し絵馬に願い事を記載して頂き、参拝と祈願を行う行事レク（以下アメイズ神社）を実施した。

【目的】

- 1) アメイズ神社にて利用者へ参拝して頂く事で季節感を感じて頂き楽しんでもらう。
- 2) アメイズ神社を実施して利用者様とご家族様が一緒に参拝し、思い出が作れる。
- 3) 絵馬の願い事を一人でも叶えられる様に工夫して支援する。

【活動内容】

- ・神社の作成と絵馬の作成は職員が行い、絵馬に願い事を書く事は各利用者様が行った。
- ・家族様に利用者様と初詣を一緒に参加出来るかを確認し、参拝出来る家族様の調整を行った。
- ・利用者様と参拝可能な家族様含め、神社に参拝し賽銭箱にお賽銭を入れ願い事を祈願し、絵馬を参拝時に奉納した。

【結果・考察】

- ・利用者様や家族様からは参拝する為の神社の鳥居を見て「こんな立派な物良く作ったわね」等のお声があり、笑顔が見られ楽しんで参加して頂いた。
- ・参拝をする際に鈴を鳴らしたり賽銭や絵馬を奉納する事によって、参拝という行為を実感して頂き初詣での気分や季節感を味わって頂けた。

【絵馬の願い事を叶える支援～外出支援～】

参拝後、一人の利用者様（以下A様）の絵馬の願い事が「色々な景色を見て回りたい」と記載されていた。普段A様は介護士にご自宅の近所の事をお話しする事が多く、「色々な景色」とはA様

にとって思い入れのある場所ではないかと考えた。また家族様がアメイズ神社に参拝に来て親身に利用者様と関わっていた事から、この願い事を家族様と協力して叶える事が出来ないかを職種間で協議し、外出支援を計画した。

【外出内容～準備～】

- ・家族様に絵馬の願い事と思い入れのある場所の会話の事を伝え、近所の外出を打診し快く承諾を得た。そして、外出場所や時間を家族様と話し合い大まかな流れを確認した。
- ・通常のお食事が腎臓食であり外出の際に食事制限が有った為、施設看護師の協力の下医師に現在の状態と血液検査を考慮し外食の許可が下りた。
- ・外出場所の下見を行い、車いすでの移動が可能か。車が入っていける場所なのか。外食するレストランでは食事席も車いすで対応可能か、トイレが車いす対応かを確認した。

【外出内容～当日～】

- ・施設車でご自宅となじみのあるスーパーに移動した。車中、A様は近所の景色を見ながら家族様に昔話をされていた。その後、ご自宅や馴染みのあるスーパーに到着し、自身の昔の記憶を取り戻した様な思い入れの深い話を主体的にされていた。
- ・外食は馴染みのレストランに向かい、家族様と一緒に食事を召し上がった。事前に腎臓病食の事を施設医師に確認していた事でA様にはメニューの内から好きな料理を選んで頂けた。食事中は「美味しいね。こんなの食べたの久しぶりだよ」と笑顔が見られた。
- ・今後の外出に向けてご家族様への介助指導を行った。レストラン内のトイレで排泄動作の一連の流れを実施した。施設に戻ってからは車いすから車への移乗動作を指導した。指導後、不安な事が解消された様子で、「外出に行きたいとは思っていたが、母も行けるか心配で助かりました。」と言われ、次回の外出へ繋がる支援が行えた。

【考察】

- ・車中の会話では、景色を見ながらの思い出話であったが、自宅等の思い入れのある場所や実際の場面を見た事で、より具体的な回想が行えたと考える。
- ・メニューの中から好きな料理を選んで召し上がっていただいた事で、主体的に昼食をとって頂き、施設生活には無い充実感を味わって頂けた。
- ・外出先の実際の環境下にて介助指導を行う事で、より分かりやすく家族様に介助指導を行えたと考える。

【まとめ】

今回のアメイズ神社の取り組みは、「絵馬」というツールを用いる事で、A様が想いを自ら発信し、職員や家族に伝える事が出来た。また普段のA様の会話を、絵馬を通して想いとしてくみ取り、家族様も叶えてあげたいと思ったことがきっかけとなり外出支援に大きくつながったと考えられる。さらに、外出を行う事で地域を散策したり、他者との交流をしながら楽しい時間を過ごす事ができた。その結果、心理的に満足感を得られM様のQOLの向上に繋がった。今後は、利用者様の普段の何気ない発言や様子をしっかり想いとしてくみ取り、他のご利用者

もM様と同様の支援を行って行く事で、QOL が向上し、より良い生活を送って行けるのではないかと考える